

■ 業務受託

- 大学関係** : プロセス制御講義(2010~2013年)、化学工学基礎講座(2008年~)
- 官公庁関連** : 戦略的基盤技術支援事業技術評価(2013~2021年)、事故事例定量 RBM 用分散型データ基盤と AI 開発(2019年~)、化学プロセスのインベントリデータの検証(2019~2020)
- 化学会社** : 工業規模水蒸気蒸留装置設計に関するコンサルティング(2016)、新規プラント建設計画基本設計の精査・改良のコンサルティング(2017)、EHS 監査対応で PSM プログラムの対応策検討支援のためのコンサルティング(2018~)、化学品生産スケールアップのためのコンサルティング(2018)、特殊化学品国内自社生産に関する専門家による助言(2018)、国内工場の合理化と米国工場建設責任者の斡旋(2018)、触媒関連のプロジェクトコンサルティング(2020)
- 制御器メーカー** : 石油精製ビジネスにおけるプラント経営に関する解説講義(2019)
- その他** : 安全関係特許調査(2019) バイオプラスチックに関する調査(2019年)、企業ウェブ配信サイトへの原稿執筆(2020~)、業界紙「配管トラブル改善事例」原稿執筆(2020) など

■ 公開講座

社会人向け公開講座(2009年~)、初心者のための化学工学入門講座(2014年~)、プロセス安全入門講座(2016年~)

■ 出版執筆

- 安全研究会** : AIChE の CCPS との共著「事例に学ぶ化学プロセス安全」及び、CCPS 書籍の翻訳「若い技術者のためのプロセス安全入門」と「化学プラントの老朽化 - リスクに基づく設備の保守とその評価」を出版、プラスチック包材リサイクル WEB セミナー(2021)、環境エネルギー総覧オンライン講演(2021)
- 装置材料研究会** : 「プラント損傷事例集」CD 版市販
- エネルギー研究会** : 「図解新エネルギーのすべて」改訂 3 版および韓国語版、「熱とエネルギーを科学する」出版

■ 産学官連携

隔年でインカム、グリーン・イノベーション EXPO の産学官マッチングフォーラム司会を担当
化学工学会年會にて産業セッションでの「現場力向上関連テーマ」の企画担当(2011~2021年)

■ 研究会

安全研究会 : CCPS が発行している PSB を翻訳し、AIChE の HP に掲載すると共に、記事についてのコメント集を「談話室」として SCE・Net の HP および「化学装置」(株工業通信)に掲載しています。2018 年に出版した「若い技術者のためのプロセス安全入門」を教本にした安全講習会「リスクに基づくプロセス安全入門」もオンラインで実施しています。また、2021 年には CCPS の「プロセス安全メトリクス」も翻訳しました。

エネルギー研究会 : “マイナスカーボンエネルギーシステムへの効果的アプローチ”を目指して、各自が調査した内容を発表し、討論を経て学会発表や雑誌投稿を行っています。現在、「2050 年温暖化ガス排出ゼロ」を目指す政府目標に対して、提案されている各種技術について、その実現可能性と課題、経済性を調査し、報告しています。

神奈川研究会 : 神奈川地域在住者が中心になり、エネルギー・環境などの技術テーマや歴史・社会問題などの文化テーマを取り上げ、研究と討論を行っています。その成果は、学会や雑誌にも発表しています。研究関連の見学等も取り入れ、外部との意見交換を行っています。

環境研究会 : SDGs 精神を基本に据えて、各メンバーが興味を持っている身近な問題からグローバルなテーマまで情報を収集し、長年培ってきた経験と俯瞰力に基づいて分析し、オリジナリティを加え、研究会で深耕し、真にサステイナブルな世界を目指し、企業支援・助言、社会への提言、学会への発表を行っています。

装置材料研究会 : 装置材料の腐食・防食技術等に関する情報交換を目的に、研究会を開催するとともに、プラント材料に関する 損傷事例 を継続的に収集し、「プラント損傷事例集」(CD-ROM)を出版。この事例集を基に NEDO 補助事業による「プラント保全における AI 開発」を実施中(~2021 年度)。2016 年、2017 年、2018 年 3 月の化学工学会年會に於いて、損傷事例集の発表とポスター発表いたしました。

福島問題研究会 : 福島第一原発事故関連の諸問題についてシニアエンジニアが取り組むべき課題を探るために、公開資料や現地調査による情報収集を行なっています。廃炉・汚染水対策については 2017 年年會シンポジウムでの発表や化学工学会への提言を行ないました。

ネット交流会 : インターネットで気軽に会員同士が交流できる場として、Zoom オンラインの会合を 2018 年から開始しました。地方在住会員を中心に、毎月 1 回の定期会合を開いて、様々な話題を話し合っています。

■ 教育グループ

社会人を対象にした公開講座では、「原子力・放射能基礎論」を続けています。企業技術者向けには、「初心者のための化学工学入門」、「プロセス安全入門」を開催しております。また、化学工学科の現役学生との交流を目的に、「ケミカルエンジニアリング・カフェ」を開いております。

■ 外部発信・交流グループ

技術懇談会 : オンラインでの開催を取り入れ、遠隔地にお住いの会員でも気軽に参加できるようになりました。会員や各研究会の要望からテーマを選び、外部講師に講演をして頂いていますが、技術から離れたテーマも取り上げております。会員講師からも多岐にわたる講演を頂き、会員間及び会員以外の方とも幅広く懇親・交流の場を作っております。

SCE・Net の窓 : 近年投稿数が増加しており、2020 年度の投稿数は 26 件、うちエッセイ 21 件、オピニオン 3 件、レポート 2 件でした。

沿革

- 2000年4月 設立
- 2000年 NEDO 委託業務受託
- 2002年 安全、環境、エネルギー研究会発足、技術懇談会発足
- 2004年 装置材料研究会、教育研究会発足
- 2005年 お茶の水女子大学「化学・生物総合管理の再教育講座」で7科目開講
- 2009年 知の市場に参画 社会人向け公開講座開講
- 2010年 創立10周年記念
- 2011年 神奈川化学研究会発足、化学工学会第76年会化学産業技術フォーラム初参加
- 2014年 福島問題研究会発足、初心者のための化学工学入門講座開講
- 2016年 企業技術者向けプロセス安全入門講座開講
- 2018年 オンライン会議の導入（幹事会、ネット交流会）
- 2020年 創立20周年記念誌発刊
- 2021年 オンライン講座導入（社会人向け公開講座、プロセス安全入門、化学工学入門）

会員構成

(2021年8月現在)



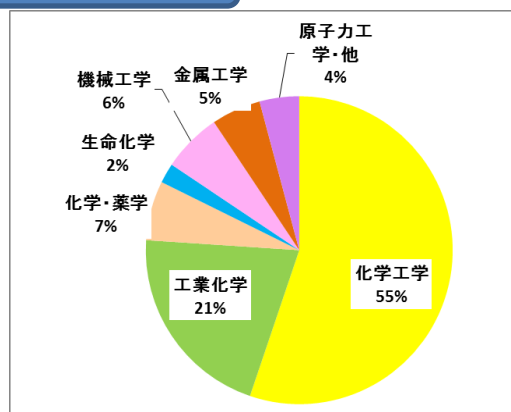
法人会員 14社



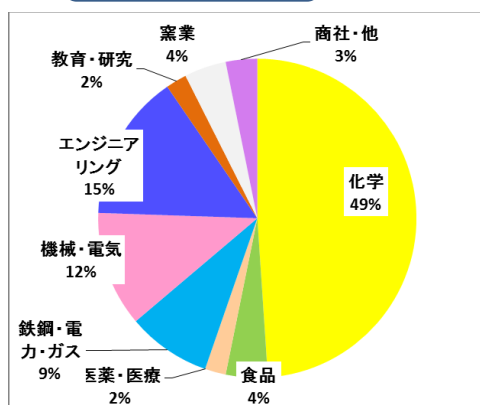
個人会員 109名

個人会員構成

専門分野



出身業界



取得資格

博士号取得者	工学 23名、理学 1名、農学 1名 化学工学上席技士 4名
技術士	化学 11名、金属 2名、水道 1名、原子力・放射線 3名
公害防止管理者	大気 1種 21名、水質 1種 29名、騒音 4名、振動 1名、主任 1名
高圧ガス製造保安責任者	甲種機械 10名、甲種化学 21名、第一種冷凍機械 1名、ガス主任技術 2名
ISO 関係資格	8名
危険物取扱者（甲種）	28名
廃棄物処理設備管理者	4名
エネルギー管理士・ボイラー	エネルギー（含む熱）管理士 10名 1級ボイラー技士 1名 2級ボイラー技士 1名
放射線取扱主任者	第1種放射線取扱主任 7名、X線作業主任 1名、原子力主任技術 1名
環境カウンセラー・計量士	3名、作業環境測定士 3名、環境計量士 2名、一般計量士 2名
衛生管理者	4名、統括 1名、労働安全・衛生コンサルタント 2名
その他資格者	18名

公益社団法人 化学工学会 産学官連携センター SCE・Net

URL : <http://www.sce-net.jp> 連絡先 : E-mail : scenet@sce-net.jp TEL : 03-3943-3527